



同時発表：高松経済記者クラブ  
愛媛番町記者クラブ  
新居浜港務局



令和8年1月9日  
四国地方整備局

## 第2回「四国みなとオアシス研究会」を開催します

四国みなとオアシス協議会では、四国地方整備局管内の「みなとオアシス」（別紙1参照）のさらなる活性化を図るため、各「みなとオアシス」運営団体及び設置団体の相互連携の深化やノウハウの共有化を進めています。

この一環として、1月15日（木）、愛媛県新居浜市において、第2回「四国みなとオアシス研究会」を開催し、全国や四国管内の「みなと」を核としたまちづくりの成功事例の共有や会員間の意見交換を行います。

1. 主 催：四国みなとオアシス協議会  
(事務局 四国地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室)

2. 開催日時：令和8年1月15日（木）14:00～17:00

3. 会 場：みなとオアシスマリンパーク新居浜 2階大会議室  
(愛媛県新居浜市垣生三丁目乙 324番地)

4. 内 容

|                                  |                 |         |
|----------------------------------|-----------------|---------|
| 1) 主催者挨拶                         | 四国みなとオアシス協議会 会長 | 谷本 訓男 氏 |
| 2) 開催地代表挨拶                       | 愛媛県新居浜市長        | 古川 拓哉 氏 |
| 3) 国土交通省からの情報提供等                 |                 |         |
| 講師：国土交通省港湾局産業港湾課 課長補佐            |                 | 平松 和也 氏 |
| 4) 四国みなとオアシスの活動報告（新居浜市、美波町）      |                 |         |
| 5) 基調講演（講師プロフィール（別紙2））           |                 |         |
| 講師：女性みなと街づくり苦小牧代表（みなとまちづくりマイスター） |                 | 大西 育子 氏 |
| 講師：日本大学理工学部まちづくり工学科教授            |                 | 岡田 智秀 氏 |
| 講師：愛媛大学社会共創学部地域資源マネジメント学科教授      |                 | 井口 梓 氏  |
| 6) みなとオアシス相互の情報と意見の交換            |                 |         |

5. 取材要領：研究会の傍聴・撮影が可能です。（報道関係者以外の方は傍聴できません）  
1月14日（水）正午までに別紙3「取材申込書」にて申し込みください。

### 【問合せ先】

四国みなとオアシス協議会事務局 TEL 087-811-8360【直通】  
(国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室)

|         |             |          |
|---------|-------------|----------|
| 室長 岡崎 裕 | ○課長補佐 高木 裕子 | ○：主な問合せ先 |
|---------|-------------|----------|

# 「みなどオアシス」の概要

別紙1

## ○みなどオアシスとは

- ・地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなど」を核としたまちづくりを促進するため、平成15年に制度を設立
- ・住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設として、国土交通省港湾局長が申請に基づき登録するもの

## ○みなどオアシスの担う役割

- ・地域住民、観光客、クルーズ旅客等の交流及び休憩
- ・地域の観光及び交通に関する情報提供
- ・その他（災害時の支援、商業機能 など）

## ○みなどオアシスの構成施設

- ・旅客施設、展望施設、多目的ホール
- ・観光案内施設
- ・駐車場、トイレ、津波避難タワー
- ・産地直売施設、レストラン など



標章  
(シンボルマーク)

## ○みなどオアシスの設置者・運営者

- ・地方公共団体（港湾管理者含む）
- ・NPO団体、協議会 など



構成施設のイメージ  
(下関港、カモンワーフ)



地域振興イベントの開催状況  
(Sea級グルメ全国大会in沼津)

登録数 169箇所  
(令和7年9月13日時点)

## みなどオアシス所在港湾の一覧

【近畿】

【大阪府】 大阪港  
阪南港  
深日港・淡輪港  
【和歌山県】 両津港  
和歌山下津港  
新宮港  
古座港  
日高港  
【京都府】 宮津港  
久美浜港  
伏見港  
舞鶴港  
【兵庫県】 神戸港  
(須磨/神戸)  
姫路港  
相生港  
福良港

【北陸】

【新潟県】 岩船港  
新潟港  
(新潟/聖籠)  
【富山県】 両津港  
魚津港  
伏木富山港  
(新湊/伏木/富山)  
【石川県】 金沢港  
小木港  
飯田港  
輪島港  
宇出津港  
穴水港  
七尾港  
和倉港  
【福井県】 福井港  
敦賀港  
和田港

【北海道】

稚内港  
香深港  
沓形港  
鶴泊港  
紋別港  
網走港  
留萌港  
小樽港  
釧路港  
苫小牧港  
室蘭港  
函館港  
江差港

【東北】

【青森県】 宮城県  
大間港  
大湊港  
青森港  
休屋港  
八戸港  
【岩手県】 気仙沼港  
仙台塩釜港  
(塩釜/仙台)  
【山形県】 酒田港  
【福島県】 加茂港  
鼠ヶ関港  
【宮城県】 小名浜港  
相馬港

【中国】

【鳥取県】 鳥取港  
境港  
【島根県】 西郷港  
別府港  
来居港  
温泉津港  
浜田港  
【岡山県】 東備港  
牛窓港  
宇野港  
笠岡港  
【広島県】 濑戸田港  
福山港  
尾道糸崎港  
(尾道/三原)

【広島県】 忠海港  
竹原港  
鮎崎港  
小用港  
三高港  
広島港  
(宇品/坂)  
蒲刈港  
厳島港  
【山口県】 山口県  
由宇港  
安下庄港  
徳山下松港  
(徳山/下松)  
三田尻中関港

【中国・四国】

【広島県・愛媛県】 土生港・立石港

【九州】

【山口県】 下関港  
別府港  
【福岡県】 大分港  
北九州港  
津久見港  
大島港  
【佐賀県】 佐伯港  
【熊本県】 富岡港  
牛深港  
八代港  
【長崎県】 熊本港  
【宮崎県】 古江港  
油津港  
細島港  
鹿児島県  
口ノ津港  
佐世保港  
川内港・里港・長浜港  
鹿児島港  
指宿港

【四国】

【高知県】 奈半利港  
手結港  
久礼港  
あしずり港  
宿毛湾港  
須崎港  
【徳島県】 徳島小松島港  
日和佐港

【香川県】 北浦港  
宇多津港  
【愛媛県】 新居浜港  
枝越港  
宇和島港  
八幡浜港  
三崎港

【関東】

【茨城県】 茨城港(大洗)  
【栃木県】 佐野インランドポート  
【千葉県】 千葉港  
木更津港  
興津港  
館山港

【神奈川県】 川崎港  
横浜港  
横須賀港  
大磯港

【沖縄県】 本部港・水納港  
那覇港  
中城湾港  
平良港  
石垣港

## <講演者 プロフィール>

別紙2

大西 育子 氏

女性みなと街づくり苦小牧代表(みなとまちづくりマイスター)

暮らしにかかわりの深い女性の立場の意見を取り入れたまちづくりのオピニオンリーダーであり、市民の目をみなとへ向けるために様々なイベントを開催している。みなとウォーク、みなと写生会、花いっぱい活動、コスモスロード、みなとピアノの設置、みなとコンサートなどを開催している。

岡田 智秀 氏

日本大学 理工学部 まちづくり工学科 教授／博士(工学)

平成10年3月に日本大学大学院理工学研究科博士課程修了、同時に博士(工学)の学位取得。その後、日本大学理工学部助手・専任講師、ハワイ大学海洋地球科学研究所客員研究員を経て、平成26年4月より日本大学理工学部まちづくり工学科教授となり現在に至る。専門はウォーターフロント計画、景観まちづくり、地域活性化。世界遺産構成資産三保松原海岸景観改善、静岡県焼津内港エリアデザイン、御前崎市景観まちづくり、東京都天王洲運河フローティングラウンジ整備、福島県いわき市津波復興等多数のまちづくりに従事。土木学会景観・デザイン委員会幹事長ほか

井口 梓 氏

愛媛大学社会共創学部地域資源マネジメント学科教授

地域の文化、歴史、伝統、景観、産業、暮らしを活かした観光やまちづくり、まちづくりに関わる人々(担い手)について研究している。専門としている「観光文化論」とは、観光と地域文化の関わりについて考え、観光が地域社会に果たす役割や影響について研究する分野。愛媛県観光振興基本計画策定委員会委員長、松山市景観審議会委員、松山市コンパクトシティ推進協議会、「松山コンパクトシティ推進協議会」検討部会・部会委員等多数のまちづくりに従事。

## <会場のご案内>

### ◆アクセス(自動車)

新居浜ICから約25分

※なお、受付はクラブハウス2階で行いますので、そちらまでお越しください。



別紙3

四国地方整備局

クルーズ振興・港湾物流企画室 宛

メール: pa.skr-cruise@gxb.mlit.go.jp

令和7年度 四国みなとオアシス研究会 取材申込書

貴社名: \_\_\_\_\_

連絡先: TEL \_\_\_\_\_

(代表者の連絡先)      ※取材当日に連絡可能な携帯電話等の連絡先を記入してください。  
                                  取材当日に変更等が生じた場合に連絡させていただきます。

取材者氏名 1) (代表者) \_\_\_\_\_

2) \_\_\_\_\_

3) \_\_\_\_\_

令和8年1月14日 (水) 12時までに

メール 送信をお願い致します。

※傍聴者数によっては、お席を用意できない場合もありますので予めご了承下さい。